

講演会のお知らせ



「べてるの家」が 福山にくるでえ～

市民のための精神保健福祉講演会2006

テーマ:「べてるの家」のメンバー, 幻聴さんを語る

講師: 向谷地 生良(むかいやち いくよし)さん(北海道医療大学助教授/「べてるの家」PSW)

高田大志(たかだ だいし)さん(浦河赤十字病院PSW)

早坂 潔(はやさか きよし)さん(「べてるの家」のメンバー)

下野 勉(しも の つとむ)さん(「べてるの家」のメンバー)

べてるの家のプロフィール(ウラをご覧ください)

日時: 2006(平成18)年2月26日(日曜日)午後2時～5時

午後1時受付開始

会場: イコールふくやま(福山市男女共同参画センター)

福山市西町1-1-1 福山ロッツ地下2階

参加費: 300円

交流会: 午後6時～8時(同じ会場)

参加費: 1000円(注: 前売りチケットが必要です)

主催: ココねっと(こころネットワーク福山)

精神障害者作業所「ほっとはうすのばら」/精神障害者作業所「遊心工房」

後援: あつとほーむ/コスモフレンドFCC/センターの友/福山市社会福祉協議会

福山市精神障害者家族会/福山市保健所/社会福祉法人まどか

協賛: 国際ソロプチミスト福山/医療法人永和会 下永病院/医療法人大林会 福山仁風荘病院

医療法人絃友会 福山友愛病院・精神保健センター友愛/フリースペース自由館

馬野神経科クリニック/おたにクリニック/びんごクリニック

カウンセリングルーム「アイくらかん」/精神保健福祉士・社会福祉士事務所「キタルファ」

GAMBA・ROSE/SUNNY SUN/精神障害者作業所「能力開発アカデミー」

精神障害者作業所「ばべの木」/松川印刷所/(株)松本ギフト

問い合わせ先

ほっとはうすのばら

084-928-4647(FAX兼)/担当: 江草

遊心工房

084-921-2322(FAX兼)/担当: 中山

長崎和則(ココねっと世話人)

090-4895-2569

会場案内

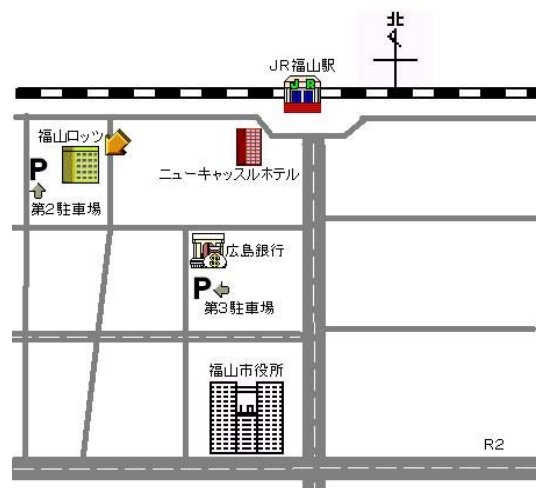
イコールふくやま(福山市西町1-1-1)

福山ロッツ地下2階(地図参照)

○できるだけ公共交通機関をご利用ください。

○駐車場をご利用の方は1時間の駐車券が出ます。
または、千円以上の買い物されると3時間の駐車券が出ます。

○駐車場は第2, 第3駐車場をご利用ください。



「べてるの家」のプロフィール

氏名:社会福祉法人「浦河べてるの家」

年齢:1984年4月1日生 20歳(2002年法人化)

住所:〒057-0024 北海道浦河町築地3丁目5-21

電話番号:TEL.(01462)2-5612 FAX(01462)2-4707

家族構成:両親:回復者クラブ「どんぐりの会」
兄弟:有限会社「福祉ショップべてる」

職業:* 小規模授産施設「浦河べてる」
研修・オリエンテーション・イベント事業
ICT事業(パソコン関連)
新鮮組事業(農水産関連)
* 小規模授産施設「ニューべてる」
うまいもん事業
グッズ事業
出版事業
ビデオ事業
べてるショップ「四丁目ぶらぶらざ」
Net Shop「やっほっほ」
* 共同住居運営

座右の銘

1. 利益のないところを大切に
2. 安心してさぼれる会社作り
3. べてるの繁栄は地域の繁栄
4. 三度の飯よりミーティング
5. 手を動かすより口を動かせ

名前の由来

「べてる(Bethel)」は旧約聖書・創世記に出てくる地名で、「神の家」という意味です。ドイツに同名の町(ドイツ名:ベートル)があり、古くから障がいを持った人々が受け入れられ、暮らしています。第二次世界大戦中、ナチスが「優れた人間のみが生きる権利がある」との思想から、障がい者を抹殺しようとした時、住民が「彼ら・彼女らを連れて行くのならば、私たちも連れて行け。」と、命懸けで抵抗したことで有名です。
「べてるの家」はこの町の人々に共感して名付けられました。

ボクたちの日常

べてるの朝は鶏を起こす

べてるの朝は早い。共同住居には高齢のメンバー(当事者)も住んでおり、夜7時に寝て朝4時に起きるツワモノも居たりします。授産施設は朝8時30分頃に鍵が開けられますが、その頃には何人かのツワモノ共が玄関前でたむろしてたりします。鍵を預かる施設長は大変です。

朝はミーティングから

8時45分にスタッフミーティング開始。全員が揃うのを待つなどということはなく、情け容赦なく定刻通りに始められるトコロがちょっと怖い。

9時30分頃にメンバーのミーティング開始。司会や記録も当然メンバーが務めます。各自、体調と気分・作業予定時間を自己申告し、朝の掃除担当場所を全員に割り振ります。喫煙室の担当がなかなか決まらないのが、いつも悩みのタネ。

お仕事開始

掃除が終わると、お仕事開始。各チームごとにミーティングや作業を始めます。特筆すべきはミーティングの多さ。運営ミーティング・各チームのミーティング・各住居のミーティング・SSTなど、とにかく、いつも何かのミーティングが開かれています。

おべんと、おべんと、うれしいな♪

お昼ご飯は、それぞれ自由。ボンビーな人の多いべてるでは、休憩室で手弁当を広げる人がほとんどです。中でも異彩を放つのは経理スタッフの木俣氏。気が向くとMy道具で蕎麦やうどんを打って、お昼ご飯にしています。

お仕事終了

午後のお仕事は基本的に3時で終了。メンバーは送迎車に分乗し、家路に着きます。四丁目ぶらぶらざの店番担当とICTチームのトラブルシューターは5時頃まで、スタッフは6時頃まで仕事をして、べてるの一日は終わります。